

国産生成AI「Sarashinaサービス」無償ベータ版：知財・法務業務への適用とリスク評価

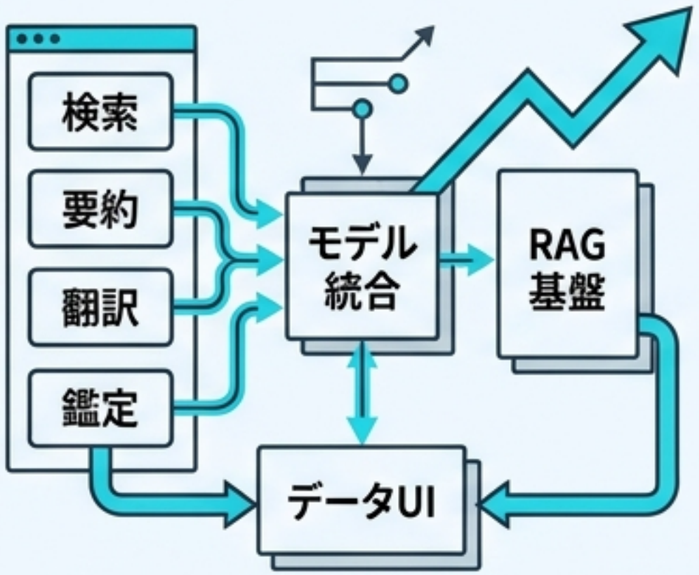
Executive Advisory & Strategic Assessment: Legal and IP Applicability

Target: Intellectual Property, Legal, DX Strategy	
Assessment Date: 2026年10月14日	✓
Document Status: CONFIDENTIAL	✓

Gemini Notebook

期待（技術ポテンシャル）

- 6つの特化モデルを統合したRAG（検索拡張生成）基盤。
- 日本語の検索・要約・翻訳において高い性能（JMTEB等で実証）。



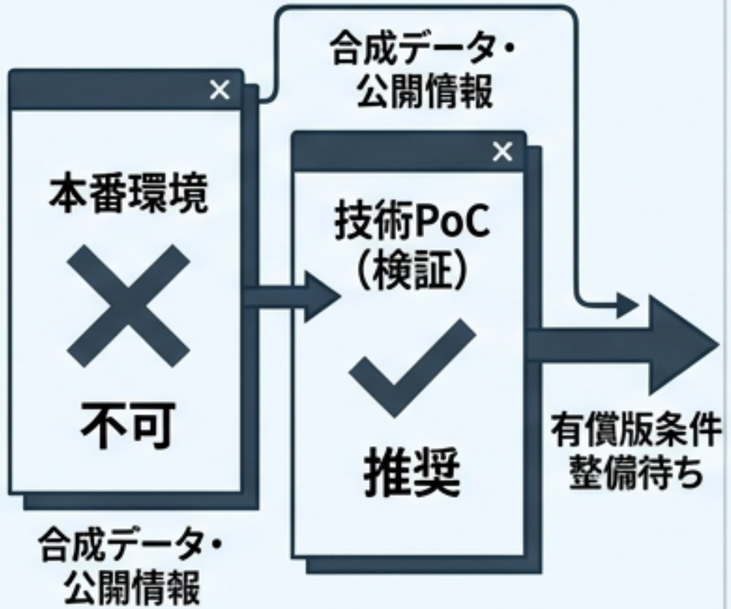
警告（法務・契約リスク）

- 無償版は入力データの学習利用をオプトアウト不可。
- 個人情報の入力禁止。「法的助言」とし
- 精度・非侵害性の保証なし（Hallucinationリスク）。

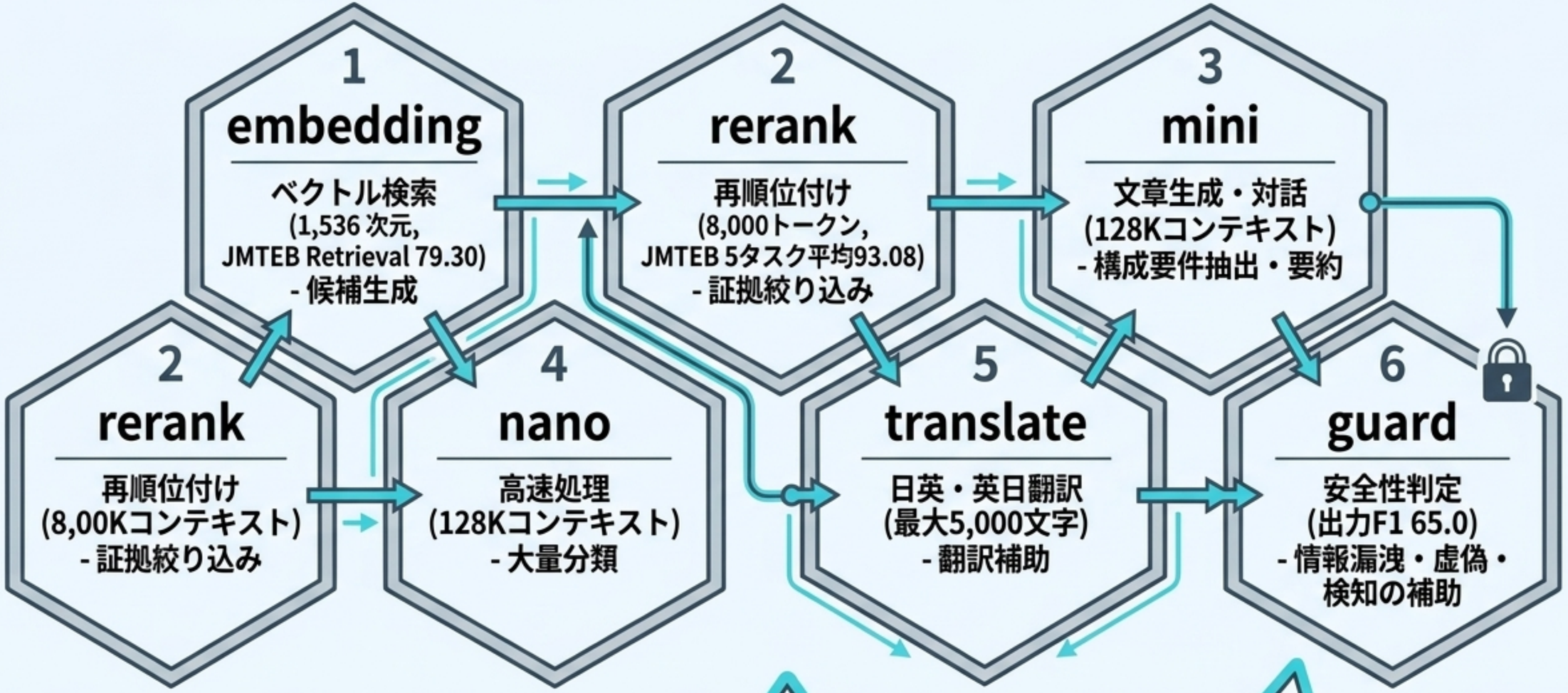


結論（導入戦略）

- 機密情報・未公開発明を扱う「本番環境」への現行投入は不可。
- 合成データ・公開情報を用いた「技術PoC（検証）」環境としては推奨。有償版の条件整備を待つべき。



Gemini Notebook



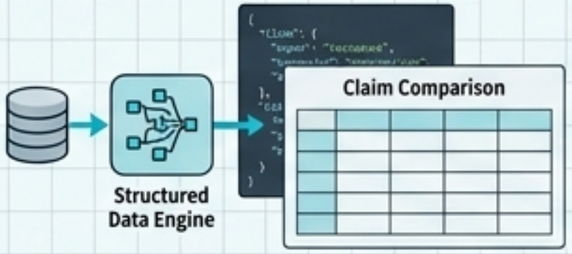
Sarashinaの真価は単一のチャットボットではなく、「検索・絞り込み・抽出・翻訳」を単一APIで完結できるRAGエコシステムにある。

Gemini Notebook

Strengths（知財業務における強み）

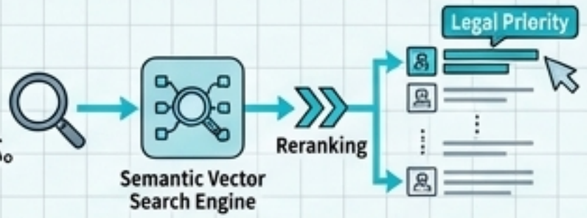
指示追従と構造化

JSON/JSON Schema出力に対応し、クレーム比較表などの形式化が得意。



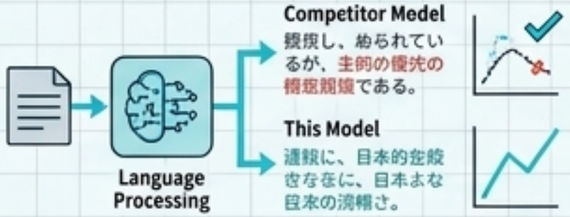
意味ベースの高精度検索

rerank機能での「法務向け優先」などの独自指示(CUSTOMIZE)に対応。



自然な日本語処理

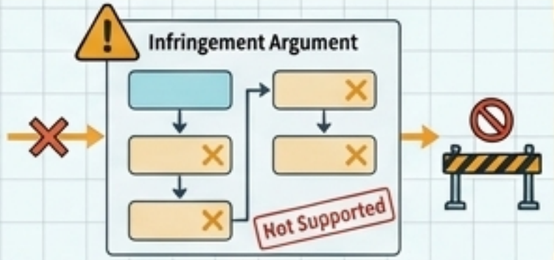
JamC-QA等で比較モデルを上回る日本語の流暢さ。



Gaps & Weaknesses（実務上の技術的限界）

「Thinking(推論)」能力の欠如

多段階の侵害論や進歩性判断を自律的に行う推論モデルではない。



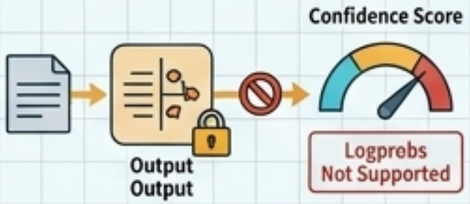
知財特化のベンチマーク未公開

特許法・審査基準専用の精度評価は未実施。



信頼度スコア(logprobs)の非対応

確率に基づくネイティブな信頼度評価ができず、「0.95だから95%正しい」といった絶対閾値の運用は不可。



Gemini Notebook

無償プランにおける重大なコンプライアンス・ゲート
(Major Compliance Gates in the Free Plan)

学習データ利用の強制

無償プランでは入出力データのモデル学習・新規サービス開発利用が規約上許諾される（オプトアウト不可）。遡及削除義務なし。



個人情報の入力禁止

規約上、特定個人を識別できる情報の入力が明確に禁止されている（契約書・人事文書の投入で重大な制約）。



専門分野に関する助言の禁止

「医学、法律、金融その他の専門分野に関する助言」として回答を利用することが明示的に禁じられている。法的判断はAIに委ねられない。



第三者知財の解釈リスク

第三者の著作物・知的財産の入力禁止条項が広く、公開特許全文や他社契約書の大量投入は事前の解釈確認が必要。

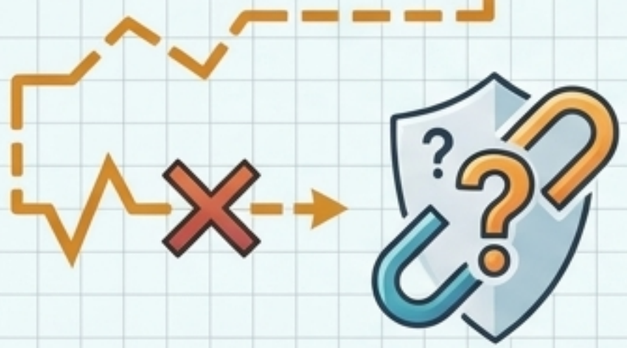


Gemini Notebook

AI Output
AIの出力

AIの自己説明 = 不十分

LLMに「判断理由」を文章化させても、内部計算の忠実な説明(Explainability)を保証するものではない。
事業者（SB Intuitions）は正確性・非侵害性を保証しない。



Disconnected Reality
切断された現実

Enterprise Accountability
企業の説明責任

知財実務の要件 = 証拠のトレーサビリティ

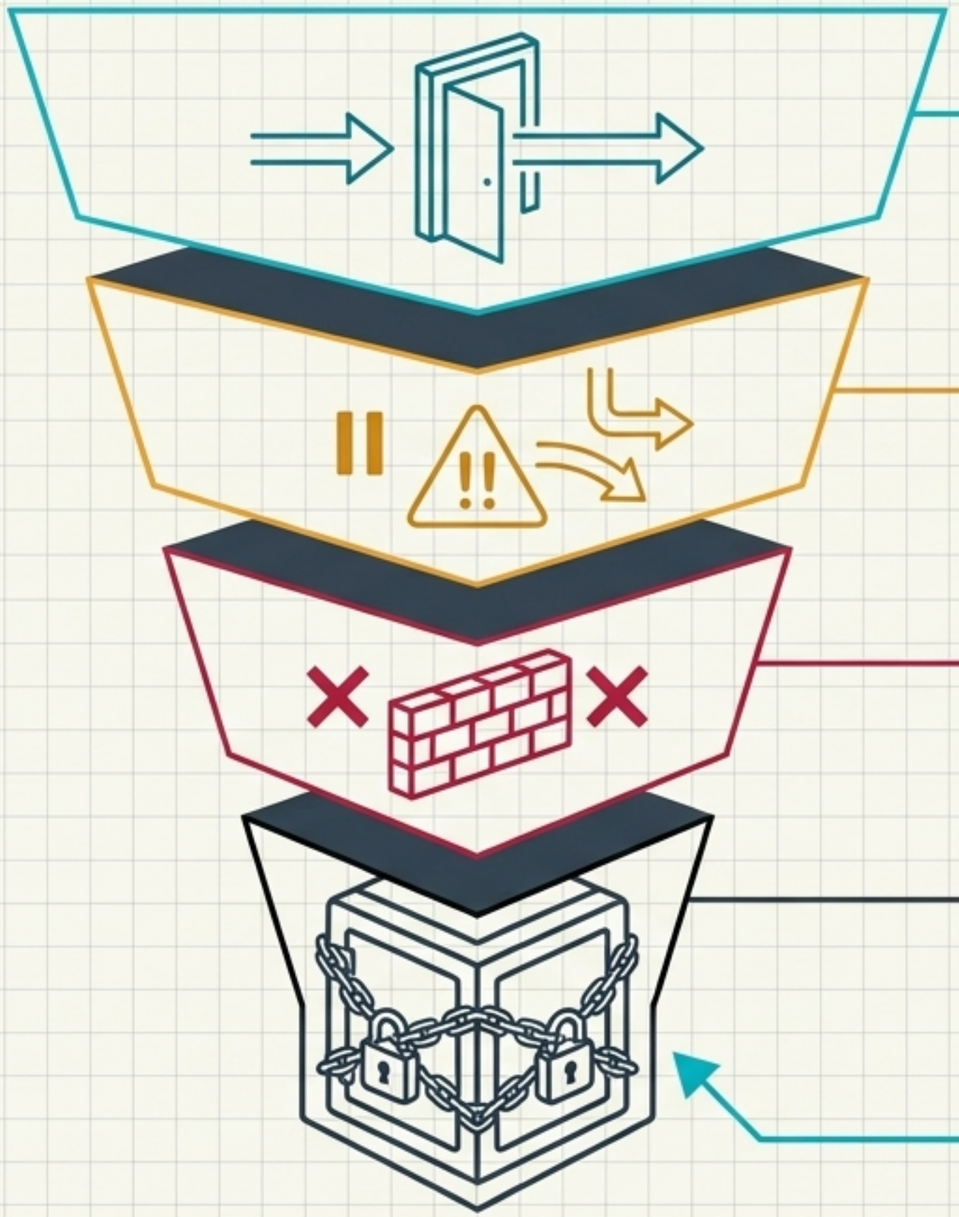
知財業務で必要な説明責任は、外部証拠への厳密なリンクである。



External Database & Evidence Repository
外部データベース・証拠リポジトリ

The Rule: AIの出力は「法的結論」ではなく「証拠箇所へのインデックス」としてのみ扱う。
原文引用、段落番号、公開番号等の外部証拠へのトレーサビリティ（source_id + verbatim evidence）が必須。

Gemini Notebook



Class A: 合成・自社権利保有・非機密データ（架空の請求項、、公開用資料等） -> PoC利用可

Class B: 公開済みだが第三者権利があるデータ（他社公開特許、論文等）-> 規約解釈確認まで原則保留

Class C: 社内機密（未公開製品仕様、社内技術報告等）
- > 投入禁止（学習利用リスク）

Class D: 最高機密・個人情報（未出願明細書、発明届、氏名入り契約書）
- > 投入禁止（規約違反・漏洩リスク）

Actionable Advice: 利用者の教育に頼らず、API Gateway等の技術的手段でC/Dクラスのデータをブロックするアーキテクチャが必須。

Gemini Notebook

IP Task Implementation: Risk-Based Matrix & Approved Use Cases (知的財産実務：リスク分類別・推奨利用マトリクス)



Green (条件付き推奨 - 補助ツールとして)

- **先行技術検索・マッピング**: 外部DB抽出後の文献順位付け(rerank)と構成要件抽出。
- **特許翻訳（公開文書）**: 翻訳補助（意訳抑制のプロンプト必須）。

Yellow (注意・限定利用)

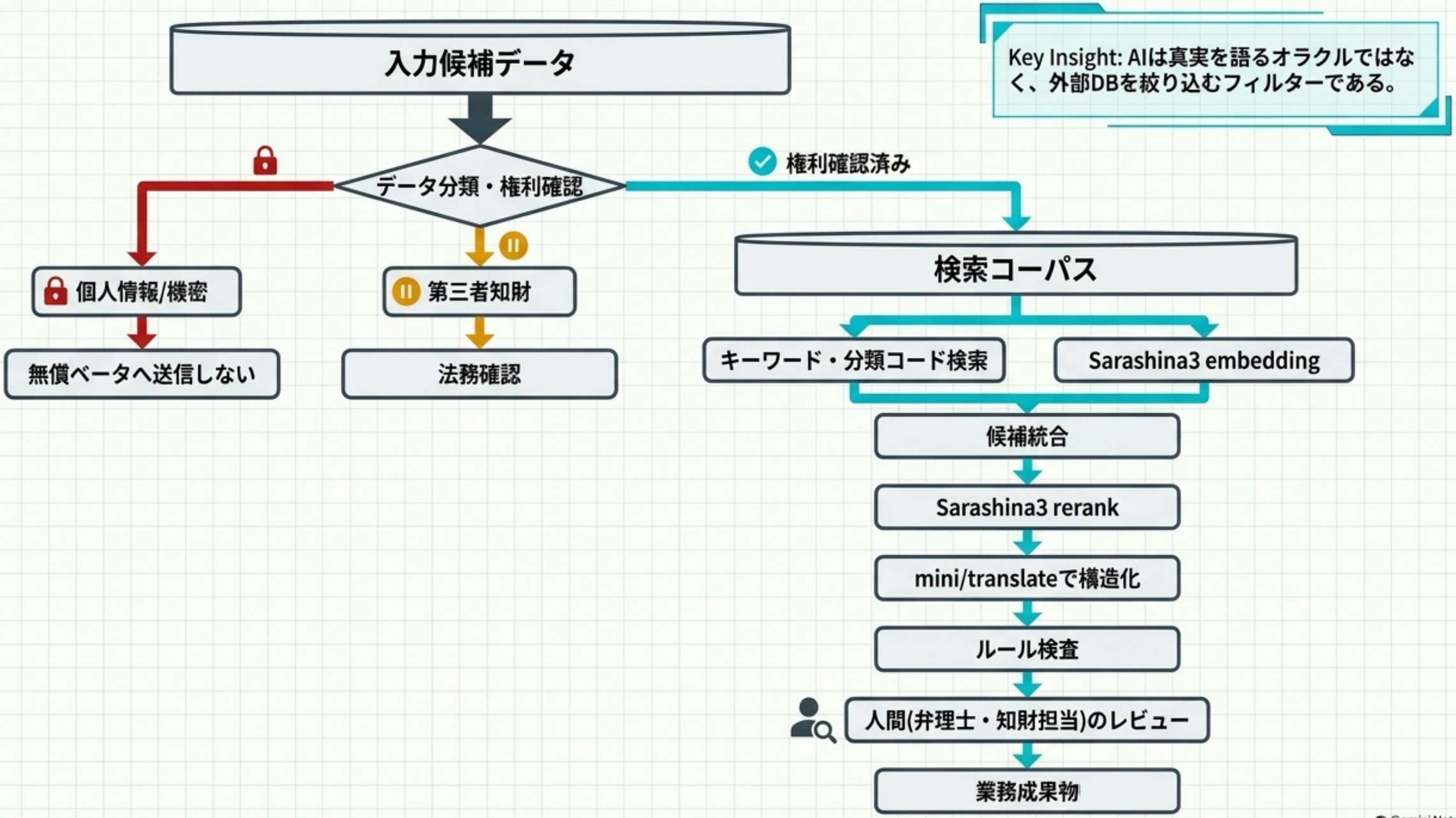
- **明細書作成補助**: 背景技術の構造化等（実案件・未公開発明の投入は非推奨）。
- **クレームドラフティング**: 複数表現案の生成のみ。AIによる法的判断は不可。

Red (本番利用不可 / 規約違反リスク)

- **侵害分析 / FTO / 法的結論**：「法律等の専門助言」禁止条項に抵触。
- **顧客契約書レビュー**：氏名等が含まれる場合、個人情報入力禁止条項に抵触。意匠（画像）調査はモデル非対応。

Gemini Notebook

Human-in-the-Loop RAG Architecture: Data Classification & Review Workflow



Gemini Notebook

Rerank & Prompt Instructions

rerank CUSTOMIZE

「単なる単語の一致ではなく、同一の技術的機能・構造・関係を開示している文献を優先せよ」

System Rules

法的結論を出さない。根拠のない補完禁止。「新規性なし」「侵害する」等の評価語禁止。

JSON Schema Constraint

```
{
  "$schema": "http://json-schema.org/draft-07/schema#",
  "type": "object",
  "properties": {
    "id": {
      "type": "string",
      "description": "Unique identifier for the claim."
    },
    "claim_text": {
      "type": "string",
      "description": "The full text of the claim being analyzed."
    },
    "documents": {
      "type": "array",
      "items": {
        "type": "object",
        "properties": {
          "doc_id": { "type": "string" },
          "excerpt": { "type": "string",
          "description": "Exact evidence text from the document." },
          "relevance_score": { "type": "number" }
        },
        "required": ["doc_id", "excerpt"]
      }
    }
  },
  "required": ["id", "claim_text", "documents"]
}
```

Takeaway: 自由回答のチャットUIを避け、JSON Schema機能を用いて出力を固定フォーマット（ 証拠抽出のみ）に強制することがHallucination対策の鍵。

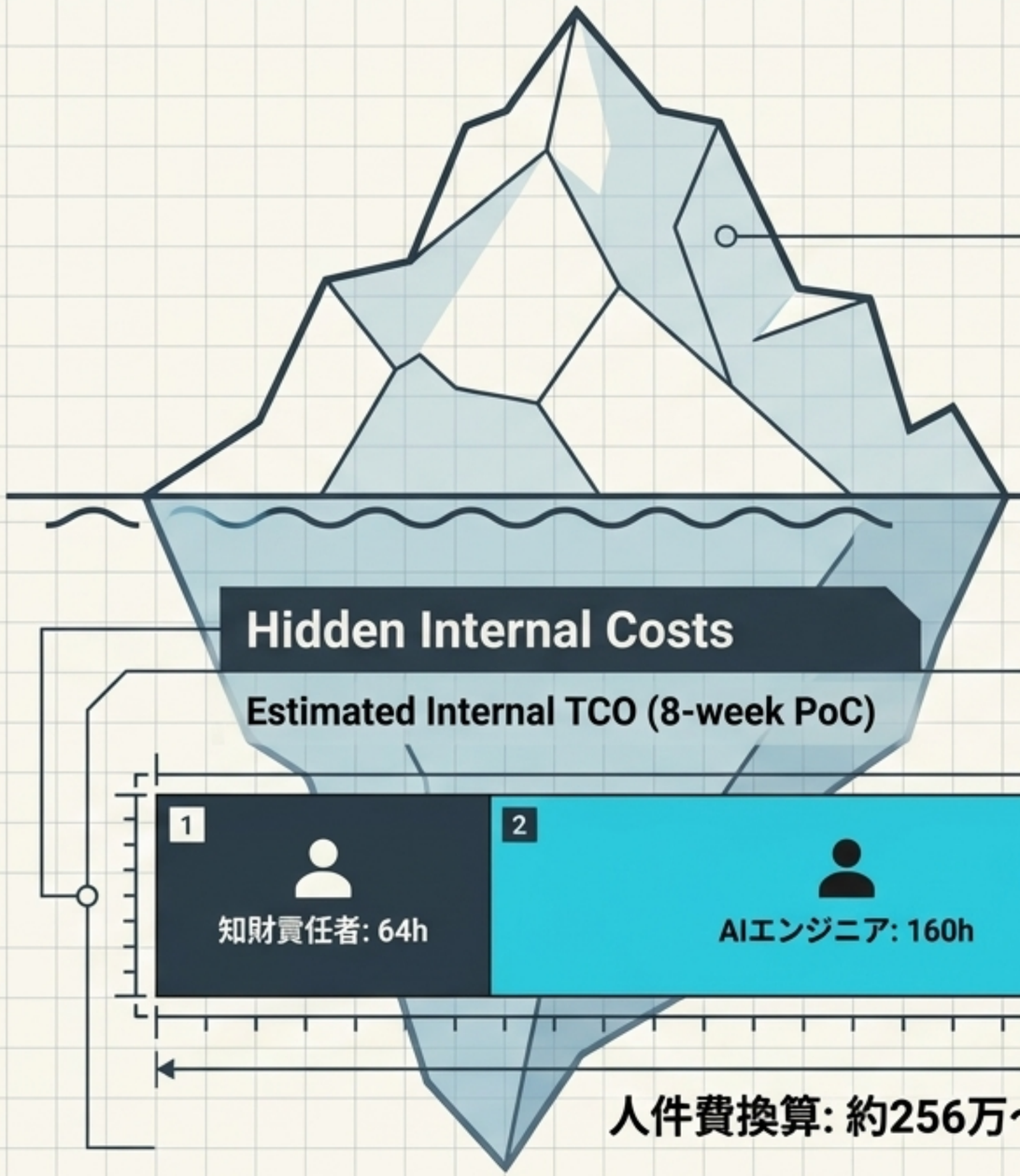
Gemini Notebook

AI Paradigm Feature Comparison & Strategic Verdict: Japanese Enterprise Readiness

	Sarashina 3 (無償ベータ)	PLaMo 3.0 Prime	NTT tsuzumi 2系	OpenAI/Anthropic (商用API)
日本語・RAG統合力	◎	○	○	△/○
法的推論能力(Thinking)	△ (thinking非搭載)	△	△	◎ (GPT-5.5/Claude Opus)
高機密データの投入 (Zero Data Retention)	× (学習利用あり)	◎ (オンプレ/専用環境)	◎ (オンプレ/専用環境)	◎ (デフォルト学習無効)

Strategic Verdict: Sarashinaは「日本語RAG構築のPoC」に最適だが、機密知財を扱う「データ・ガバナンスと複雑な法的推論」においては他社エンタープライズ製品が現状優位。

Gemini Notebook



Visible API Limits

The RPM Reality (Rate Limits)

60 RPM (embedding/rerank) /
6 RPM (mini/guard).

LIMITED

Real-world impact: 10万件のテキストをembeddingするだけで理論上約27.8時間（+エラー再試行）が必要。
大規模な特許DBのフルインデックス構築には不向きで、数千〜数万件規模のPoC向け。

Visual Amperist Limits

Hidden Internal Costs

Estimated Internal TCO (8-week PoC)

1 知財責任者: 64h

2 AIエンジニア: 160h

3 法務/Sec: 32h

4 レビュアー: 64h

合計
320時間

人件費換算: 約256万〜480万円の社内投資が必要。

Gemini Notebook



Checklist for SB Intuitions
(本番移行への必須確認事項)

- ☐ Zero Data Retention: 有償プランにおいて、遡及的なデータ削除と学習完全除外は保証されるか？
- ☐ SLAと継続性: 稼働率保証、インシデント通知期限、モデル廃止前の通知期間は？
- ☐ 第三者知財の解釈: 公開特許・判例・他社論文を大量入力することに対する規約(第10条)の正式な法的見解は？
- ☐ エンタープライズ・セキュリティ: 保存時/通信時の暗号化仕様、データ保存リージョン(国内完結か)は？
- ☐ 内部統制機能: 企業向けSSO (SAML/OIDC)、RBAC (ロールベースアクセス制御)、管理者監査ログは提供されるか？

Gemini Notebook

短期 (現在〜3か月) : PoC - 実行 (GO)

対象: 合成データ、自社権利保有かつ非機密データ。

アクション: embedding/rerank、要約、翻訳のパイプライン検証。知財特化のgold setによる定量評価（Recall率等）。

中期 (3〜12か月) : 内部展開 - 条件付き実行 (Conditional GO)

対象: 有償プランの条件開示待ち。

アクション: 学習オプトアウト、保持期間、セキュリティSLAの書面確認後、限定的な内部業務へ適用。

長期 (12か月以降) : 本番知財基盤 - 保留 (Hold for Readiness)



対象: RAG検索、侵害分析補助、社内知財ナレッジ全般。

ゲート: Zero-retention/専用環境級のデータ保護、社内評価基準の完全クリア。

Gemini Notebook

Primary Conclusion

技術評価用サンドボックスとしては強く推奨。機密知財を扱う本番システムとしての採用は現時点で見送り。

The Tech Value

6モデル統合による日本語RAG構築環境としては、既存の汎用チャットAIを超える高いポテンシャルを実証している。

The Business Directive

AIを「弁理士の代替」として法的結論を出させる運用を厳禁とし、「外部証拠の検索・抽出を高速化する副操縦士(Copilot)」として安全なアーキテクチャ(人間介入型)を設計せよ。

Final Note: 将来のエンタープライズ条件（学習除外、専用環境、SLA）が整備された段階で、国内企業の最強の知財基盤候補として再評価を行う。

Gemini Notebook